



第 68 号
平成 21 年 行
7 月 発

思いやりと親切：

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 滉

人に親切にするということは、誰もが当たり前前のおもっています。ところが、その当たり前前のおもったことが案外と難しいのです。「おせっかいと思われないかな」「面倒なことになるのでは」「照れくさくて直ぐに行動に結びつかない」等々、さまざまな思いが頭をよぎってしまいます。

親切は善意の心から始まります。善意とは「良かれと思って」の行為です。誰もが善意には心から感謝し、その気持をいつまでも変えないでほしいと思います。ただ残念ながら、良かれと思つてという行為には危険な思い違いがひそんでいられる事もある。とエッセイストの三宮麻由子氏は述べ、次のような「親切の三原則」を提言しています。

- 一．親切の主役は「受ける人」
- 二．親切には「正しい方法」がある
- 三．親切には「対話」が不可欠

親切の基本は「相手が主役」であること、親切実践の基本は「相手に決

定権を与える」ことではあるまいか。つまり、相手が助けを求めているかどうか。求めているとすればどの様なことなのかを考える。そして、親切で最も大切なことは、それは「私は助けてあげられます」という意思表示と「あなたは助けが必要ですか」という対話（意思確認）が必要でしょう。助けがある（時には自分の判断で）と言われたら、相手の要望を聞いた（時には聞かなくても）そのうえで、自分の出来る範囲を申し出て行動する。また、支援を断られたら、お互いに柔軟な対応がとれる心構えで意思疎通が出来れば、それこそ本物の親切になるでしょう。

もちろん親切を受ける側にも三原則あつてしかるべきでしょう。全面的に頼るだけでなく、困っている旨を明確に説明する事、断るときはお礼の言葉を添えて丁寧に、そして、受けた親切への感謝をはっきり伝えることも大事であります。せっかくの親切なら、お互いにこうした原則を心に留め、喜びと感謝が交換出来たら素晴らしいですね。

他人に対する思いやりや、親切の気持ちは、脳が自然に生みだしているのです。困った人がいれば、それを見た途端に胸がドキドキしてくる筈です。何かしようという気持ちになったらそれに従う。つまり、脳の働きに素直に従つて、お互いに少しずつ助け合つていけば、世の中はだんだん良くなっていくのではないでしょう。昔のように、「人のために何かをしようと喜びになる」と考えていた社会に、もう一度戻つてほしいものです。「望洋荘」の職員も親切にするという本当の喜びを多く経験して下さい。

「第4回 花火大会」

主催 望洋荘
共催 家族会

七月十八日(土) 午後七時より、正面玄関前広場にて「第四回 花火大会」を開催致しました。家族会様より沢山の花火を協賛いただきおかげ様にて、盛大な花火大会を行う事が出来ました。当日は少し小雨模様でしたが、手持ち花火をご家族やスタッフと共に楽しみ、噴出し花火や打ち上げ花火、ナイアガラ等をご覧いただき、楽しい時間に酔いしれ、季節感を満喫して頂く事が出来ました。



「琴演奏会」 豊間中学校 箏曲部

七月十四日(火) 午前九時より、二階塩屋岬広場にて豊間中学校 箏曲部の生徒さんによる「琴演奏会」が行われました。生徒さんが奏でる琴の音色に大変な喜びがありました。また豊間中学校の生徒さんは、毎年職場体験にもお越し頂いており、入居者様とコミュニケーションを図るなど様々なボランティア活動をして頂き、心より感謝しています。



「スイカ割り」 四倉・勿来ユニット

七月十三日(月) 午前十時より正面玄関前にて、四倉・勿来ユニット合同による「スイカ割り」を行いました。スイカ割りも毎年恒例行事となりました。入居者の皆様がそれぞれスイカを思い切り叩くもの、中々有効打をあたる事が出来ず、大奮闘するなど、茶目っ気一杯の楽しいひと時を過ごし、その後、スイカを美味しく味わって頂きました。



『投稿作品』の紹介 ③
佐々木かつ子様作品集から

今回は、昨年四・五月号に引き続き、須田医院デ
イケアのリハビリに通う佐々木様の川柳「私の半生
と川柳句集」の作品集の第二作目「生きる」の一部
を二回に亘って紹介致します。

「生きる」私の川柳句集から

佐々木かつ子 著

子の車 乗るにも遠慮 原油高

いい余生 肩肘張らず すんなりと

民営化 いいことばかり なさそうだ



人生は 思い通りにゃ 行かぬ旅

あの元気 とても卒壽と 思えない

ピーマンの 緑が映える 脇役で

字余りを直すと光 出す句箋

深呼吸 自分の中味 入れ替える

おねだりは 爺ちゃんにする 孫の知恵



旬を食べ 四季の恵みが 有難い

あれこれと 積んで来たこと 生きる糧

言い訳を 重ねる程に 嘘っぽい

老体を 診察券が ガードする

年金を 孫と体に 投資する

川柳を 続けて心 広くなる

ワツハツハ 笑えばウソも 飛んで行く

病歴は 似たり寄ったり 同い年

いつの間に 嫁の天下になる 不思議

長い友 一足早い 老人ク

メタボ腹薬はないと 医師は言う

安売りの ビラと睨めっこ 嫁と孫

川柳は 私の妙薬 処方箋

今一度 詠んでみたいが 眼がかすむ

春うらら エールが届く 沈丁花

世界的 猛威感染 悩まされ
(新型インフルエンザ)



十代を 思えば友と 青春期

老いの身は 青葉燃えても 風沁みる

川柳は 私のいきる 処方箋

「結婚おめでとうございます」



● 妻の姓=いわき市平
● 挙式日=平成21年6月20日
● 式場=カルチェ・ド・シャン・ブリアン

「運命の人」と一目ぼれ

3姉妹に3兄弟の競演も

蛭田和哉さん (26)

ゆかりさん (24)

——「運命の出会い」とのことですが？

和哉 三年前、共通の友人を通して、食事会で初めて彼女に会いました。

ゆかり 会った瞬間に、「運命の人だ！」と、一目ぼれ。背が高く、スポーツマン、父に似て、温和で気配りができる、理想のタイプだったんです。

——交際までのエピソードは？

ゆかり 彼の友人に連絡先を聞いて、半年間、メールを送ってアプローチ。絵文字のないメールが返ってきたり、二度の告白も断られたり…。押しつたり引いたり展開でした。

和哉 結婚相手を探していたので、真剣に彼女がお嫁さんとして理想なのか、行動やしぐさなどを観察してたんです。

——突然の告白だったとか

和哉 一昨年の八月、彼女の誕生日に、ふと思つて、「結婚すつか！」と、告白しました。

ゆかり 即答しましたが、交際したどりつく前に、結婚の話に飛びましたから驚きました。

——式場は最初から決めていたそうですね

ゆかり 家族ぐるみの付き合いも順調で一年たったころから、そろそろ式を…と思ひ、挙げるなら、シャン・ブリアンさんと決めていました。衣装の多

さは、選択に迷うほど。豪華な花嫁の着物に、ドレスは、レースの豊富な白と人気のブラウン系を選びました。

和哉 フェアの模擬挙式を見に行き、準備もスムーズに進みました。

——式は大盛況だったようですね

和哉 仕事柄、車が好きなので、車の写真を張り付けた車形パネルをテーブルに飾ったところ、大好評。友人のサプライズ余興では、爆笑の渦でした。

ゆかり 家族製作のウエルカムボードは式に華を添えてくれて。手作りブーケ、ケーキには気合が入りました。

お色直しの退場では、私たちが三姉妹が手をつないで、ディズニーの曲に乗せて退場。彼の三兄弟も便乗して、新郎のお色直しで、兄弟船の曲と共に、三人手をつないで退場したら受けました。スタッフさんの親身な対応のおかげで、涙あり、笑いありの素晴らしい式ができました。

和哉 母代わりに育ててくれた祖母に花束を渡したら、ジーンとききました。父が最後まで自然体でいたのは偉大だな。実感がわくどころか、あつという間でした。

——どんな家庭でありたいですか？

ゆかり 全員が健康で、楽しく、明るい家庭が築けたらいいですね。

和哉 その通りです!!

「りくいど」 十月号
よつ、新婚さん
より引用

八月の行事予定

八月 一日(土) 午前九時四十分

薄磯・豊間ユニット合同

「すいか割り」 二階 塩屋岬広場

八月 二日(日) 午前十時三十分

「夏祭り」

八月十九日(水) 午前十時三十分

「買い物ツアー」

八月二十二日(土) 午後四時

「ビアガーデン」二階 塩屋岬広場

【八月のお誕生会予定】

八月 一日(土)

永崎 佐藤ちる子様 (八一歳) 誕生会

八月 六日(木)

四倉 後藤スイ子様 (九五歳) 誕生会

八月 二十四日(月)

豊間 綿引登志子様 (七九歳) 誕生会

八月 二十五日(火)

四倉 今田キミ様 (八二歳) 誕生会

八月 二五日(火)

豊間 高橋ノブ様 (八七歳) 誕生会

八月 三〇日(日)

豊間 坂本徳次郎様 (九三歳) 誕生会

編集後記

『望洋 荘』便り

平成二十一年七月三十一日発行

発行所 いわき市

平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373

FAX (0246) 55-7255